

SHONAN 景況レポート

No.161

神奈川、三浦地域を中心に... 2023年6月8日実施した中小企業短期景況観測調査で全営業店長が直接企業主に面接して2023年4〜6月の現況と2023年7〜9月の業況予測を開示してもらい、まとめた。横須賀市内中小企業については、横須賀市並びに同市産業振興財団とかながわ信用金庫を加えた4者による合同調査を実施し、結果をレポートに反映させた。

概況

全産業の総合業況判断指数(業況が「良い」から「悪い」を引いた値)はプラス16、前回調査(2023年3月7日)から4ポイント改善した。産業別の内訳は、製造業は23ポイント改善、建設業は7ポイント悪化、卸・小売業は3ポイント改善、不動産業は19ポイント悪化、サービス業は24ポイント改善した。産業全体の業況DI(総合業況判断指数・前回調査比)は「変わらない」の5ポイントから19ポイント悪化しプラス14のポイントが「悪い」へ移行した。コロナ禍による制限解除が進み人の動きの活発化が顕著となり、観光地や公共の交通機関や飲食店などコロナ禍以前のような賑わいが戻った。急速に経済が活発化する中、各産業分野で人手不足が顕在化した。また、給与の引上げ機運が高まり、上昇分が消費に回るような好循環が進むことが期待される。好調だった海外景況が鈍化し始め、回復の動きは緩やかに見える。産業別で見ると、製造業は前回調査のマイナス13ポイントから23ポイント改善し、プラス10ポイントとなった。「悪い」の17ポイントが「良い」へ移行した。「悪い」の6ポイントが「変わらない」へ、「変わらず」の17ポイントが「良い」へ移行した。海外景況の好調を受け業況は上向きだが、原材料価格や光熱費などの高騰が利益を圧迫。経費上昇分を販売価格にどれだけ反映させられるかが課題。建設業は前回調査のプラス23ポイントから7ポイント悪化した。製造業はプラス16ポイントとなった。「良い」の3ポイントが「変わらない」へ、「変わらず」の4ポイントが「悪い」へ移行した。工事を受注して順調に仕事を進めているところもあるが、資材高騰、人手不足とその影響による工期のずれ込みで経営が思わしくない企業も出てい

製造業

4〜6月上げは前年比5%減少。半導体不足に加え、海外からの部品・原料料等の輸入が停滞していることが主なる要因。影響は当面続く予想され、7〜9月上げは前年比5%減少を見込む。(横須賀・北部地区)

建設業

4〜6月上げは前年比10%増加。新築住宅の建築やリフォーム等の件数は増加傾向であったことが要因。指定工事業者資格取得により、横須賀市外や東京都等からの問合せや受注が増えている。材料価格高騰の影響はしばらく続くものと予想されるが、7〜9月上げは前年比10%増加を見込む。(横須賀・北部地区)

卸・小売業

4〜6月上げは前年比15%増加。顧客の購買意欲は改善している。販売額は回復傾向にあるが、自動車整備部門は落込んでいる。車検・整備等も自社で行うよう、早目の案内により顧客の囲い込みを図っている。7〜9月上げは前年比20%増加を見込む。(横須賀・南部地区)

不動産業

4〜6月上げは前年比5%増加。感染症の分類5%増加。転売後客足が戻ってきた。ゴルフ関連ウィークも好天で売上げは堅調に推移。一部商品の品薄状態が続くほか水道光熱費の高騰が収益を圧迫、特に深夜帯は人員の見直しを含めた経費削減に取り組んでいる。これからの季節は客足が増え、飲み物や食品などが好調となり、7〜9月上げは前年比5%増加を見込む。(横須賀・北部地区)

サービス業

4〜6月上げは前年比5%増加。主要先からの受注により売上げ微増。人員が不足しており、職人の確保が厳しい状況。材料費等の高騰により、受注工事の利益率に影響が出ている。前期からの繰越となっている現場もあり、7〜9月上げは前年比10%増加を見込む。(三浦地区)

管工事業

4〜6月上げは前年比5%増加。主要先からの受注により売上げ微増。人員が不足しており、職人の確保が厳しい状況。材料費等の高騰により、受注工事の利益率に影響が出ている。前期からの繰越となっている現場もあり、7〜9月上げは前年比10%増加を見込む。(三浦地区)

不動態産業

4〜6月上げは前年比400%増加を見込む。これにより商品在庫がなくなるため仕入に力を入れたところだが、物件が不足していることが課題。(横須賀・中央地区)

不動産販売業

4〜6月上げは前年比50%減少。在庫が早期に売却となり、その後の仕入ができていないことが要因。不動産情報は出ており景況

改善、不動産業は19ポイント悪化、サービス業は24ポイント改善した。産業全体の業況DI(総合業況判断指数・前回調査比)は「変わらない」の5ポイントが「良い」へ、「変わらず」の17ポイントが「悪い」へ移行した。コロナ禍による制限解除が進み人の動きの活発化が顕著となり、観光地や公共の交通機関や飲食店などコロナ禍以前のような賑わいが戻った。急速に経済が活発化する中、各産業分野で人手不足が顕在化した。また、給与の引上げ機運が高まり、上昇分が消費に回るような好循環が進むことが期待される。好調だった海外景況が鈍化し始め、回復の動きは緩やかに見える。産業別で見ると、製造業は前回調査のマイナス13ポイントから23ポイント改善し、プラス10ポイントとなった。「悪い」の17ポイントが「良い」へ移行した。「悪い」の6ポイントが「変わらない」へ、「変わらず」の17ポイントが「良い」へ移行した。海外景況の好調を受け業況は上向きだが、原材料価格や光熱費などの高騰が利益を圧迫。経費上昇分を販売価格にどれだけ反映させられるかが課題。建設業は前回調査のプラス23ポイントから7ポイント悪化した。製造業はプラス16ポイントとなった。「良い」の3ポイントが「変わらない」へ、「変わらず」の4ポイントが「悪い」へ移行した。工事を受注して順調に仕事を進めているところもあるが、資材高騰、人手不足とその影響による工期のずれ込みで経営が思わしくない企業も出てい

4〜6月上げは前年比15%増加。顧客の購買意欲は改善している。販売額回復傾向にあるが、自動車整備部門は落込んでいる。車検・整備等も自社で行うよう、早目の案内により顧客の囲い込みを図っている。7〜9月上げは前年比20%増加を見込む。(横須賀・南部地区)

4〜6月上げは前年比5%増加。転売後客足が戻ってきた。ゴルフ関連ウィークも好天で売上げは堅調に推移。一部商品の品薄状態が続くほか水道光熱費の高騰が収益を圧迫、特に深夜帯は人員の見直しを含めた経費削減に取り組んでいる。これからの季節は客足が増え、飲み物や食品などが好調となり、7〜9月上げは前年比5%増加を見込む。(横須賀・北部地区)

4〜6月上げは前年比50%減少。在庫が早期に売却となり、その後の仕入ができていないことが要因。不動産情報は出ており景況

4〜6月上げは前年比5%増加。主要先からの受注により売上げ微増。人員が不足しており、職人の確保が厳しい状況。材料費等の高騰により、受注工事の利益率に影響が出ている。前期からの繰越となっている現場もあり、7〜9月上げは前年比10%増加を見込む。(三浦地区)

4〜6月上げは前年比5%増加。主要先からの受注により売上げ微増。人員が不足しており、職人の確保が厳しい状況。材料費等の高騰により、受注工事の利益率に影響が出ている。前期からの繰越となっている現場もあり、7〜9月上げは前年比10%増加を見込む。(三浦地区)

4〜6月上げは前年比400%増加を見込む。これにより商品在庫がなくなるため仕入に力を入れたところだが、物件が不足していることが課題。(横須賀・中央地区)

4〜6月上げは前年比50%減少。在庫が早期に売却となり、その後の仕入ができていないことが要因。不動産情報は出ており景況

4〜6月上げは前年比5%増加。主要先からの受注により売上げ微増。人員が不足しており、職人の確保が厳しい状況。材料費等の高騰により、受注工事の利益率に影響が出ている。前期からの繰越となっている現場もあり、7〜9月上げは前年比10%増加を見込む。(三浦地区)

中小企業短期 景況観測調査

Table with 25 columns (Industry, Survey Item, 2023.3, 2023.6, 2023.9, etc.) and multiple rows for various categories like 業況, 生産・売上額, 在庫, 雇用, etc.

調査項目の在庫(製造業)並びに金融機関の貸出態度(全産業)は当金庫だけの調査である。

感は悪くない。7～9月売上げは前年比50%減少を見込む。(横須賀・北部地区)

〔不動産売買業〕

4～6月売上げは前年比横這い。仕入は慎重に行っており売上げ増加はあまり期待できない状況だが、昨年仕入れた物件を今期売却し売上げ計上につなげていく。商品在庫の売却が見込める時期であり7～9月売上げは前年比10%増加を見込む。(横須賀・南部地区)

【製造業】

4～6月売上げは前年比横這い。感染症の位置づけが5月に引き下げられたことで観光客が増加し売上げも順調だったが、ゴールデンウィークは雨の影響もあり想定していたより下回った。今後はより日常的に購入してもらえようというイメージも検討している。観光客は増加傾向にあり、7～9月売上げは前年比5%増加を見込む。(鎌倉地区)

〔食品加工業〕

4～6月売上げは前年比10%増加。コロナ禍が落ちつき例年通りの受注量が確保できた。過去には商談の延期や、商談成立寸前で立ち消えとなることもあったが、最近はそのようなこともなくなった。原材料高騰もあり利益確保ができていない。7～9月売上げは前年比10%増加を見込む。(鎌倉地区)

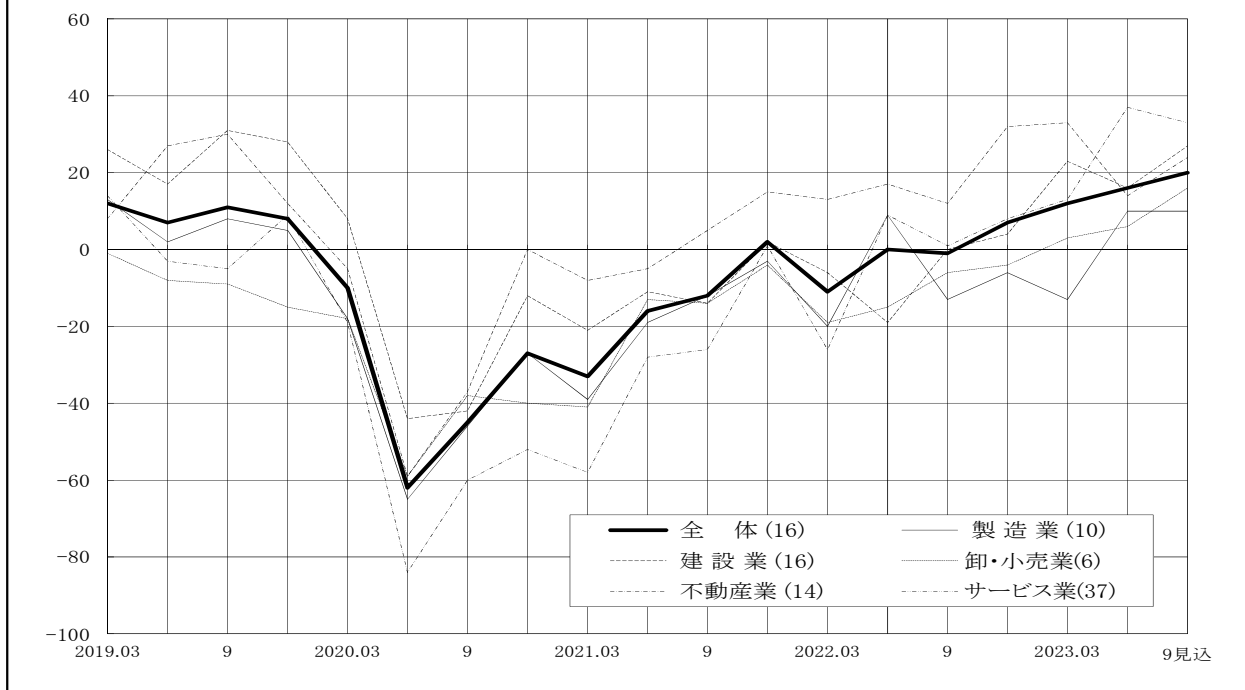
【サービス業】

4～6月売上げは前年比30%増加。休日の集客はコロナ禍前と同水準、ゴールデンウィークの売上げは過去最高となった。7～9月売上げは前年比10%増加を見込む。(鎌倉地区)

〔飲食業〕

4～6月売上げは前年比20%増加。大型バスによるランチ利用の団体客が増え、コロナ禍前の80%程度まで回復。宿泊も旅行需要の高まりで、特にゴールデンウィークは盛況だった。原材料価格の高騰を受けてランチの値上げを近日実施。7～9月売上げは前年比10%増加を見込む。(横須賀・南部地区)

中小企業短期景気観測調査



【建設業】

4～6月売上げは前年比5%減少。受注はあるものの人員不足により作業効率が悪かった。求人募集では現場監督は一定の応募があるものの、職人は人気薄で年々少なくなっている。7～9月売上げは前年比5%増加を見込む。例年梅雨の影響で工期がずれ込むことや、台風の影響による受注増加等売上げは増加傾向。受注に対応する人員確保が課題。(鎌倉地区)

〔屋根工事業〕

4～6月売上げは前年比30%増加。以前と変わらぬ、戸建の新築工事は減少傾向であるも戸建・中古マンションのリフォーム工事は順調に受注。大手不動産業者から再販事業に伴うリフォーム・リノベーション工事も安定して受注。資材高騰の影響が深刻化しているが、仕入価格がこれまでより30～40%程度増加しているが、工事価格へ転嫁している。(逗子地区)

【卸・小売業】

4～6月売上げは前年比15%増加。中古車市場価格高騰が落ち着いてきたこと横這い。依然原材料価格は高止まりしている。当初は顧客の理解が得られず請負価格に転嫁できなかったが、最近では顧客の理解も進み適正な利益が確保できているようになった。7～9月売上げは前年比15%増加を見込む。(茅ヶ崎地区)

〔和菓子製造販売業〕

4～6月売上げは前年比

横這い。コロナ禍の規制が緩和し、イベントが少しずつ再開し始めている。しかし、全体のイベント数は減少している。そのためイベントでの大量受注は減ったが個人客による店舗購入が増加した。7～9月売上げは前年比横這いを見込む。夏に向け、季節の果物を使ったデザート商品の導入を検討している。(寒川地区)

〔スーパーマーケット業〕

4～6月売上げは前年比5%減少。感染症に関する制限がなくなった分、外食へ流れている傾向がみられる。一度来なくなった高齢者を中心とした客層の戻りが遅い。経費面では電気代や仕入価格の高騰により出費が増えている。近隣スーパーやネットスーパーとの価格競争もあり7～9月売上げは前年比5%減少を見込む。(藤沢地区)

【サービス業】

4～6月売上げは前年比20%増加。コロナ禍の規制緩和が進み前年よりも来客増加。現在は予約客で溢れ、フリー客が入れないほどの繁盛。特に団体客の予約が増え、売上げが伸びる要因になっている。7～9月売上げは前年比20%増加を見込む。(鎌倉地区)

〔飲食業〕

4～6月売上げは前年比15%増加。新型コロナの位置付けが5月に引き下げられたことにより来店客数は増加、居酒屋での売上げが伸びている。また、家庭需要も依然として旺盛であり焼き鳥のテイクアウトも堅調に推移。7～9月売上げは前年比20%増加を見込む。(逗子地区)

【製造業】

4～6月売上げは前年比5%増加。原油価格の高騰に伴い原材料費は増加。販売価格の値上げを行ったため、売上げは前年同月よりも上回る。7～9月売上げは対前年比10%増加を見込む。(横浜・保土ヶ谷区)

〔部品加工業〕

4～6月売上げは前年比10%増加。少量多種の精密機械部品の製造、加工を主に業とし、コロナ禍収束に伴い加工関係の注文が増加。今後は部品価格の高騰に対応しながら受注先の取引単価の交渉を行っていく。7～9月売上げは前年比5%増加を見込む。(横浜・磯子区)

【卸・小売業】

4～6月売上げは前年比20%増加。輸入食肉仕入値が上昇しており、卸と小売りに共に販売価格を値上げしている。卸先や店頭販売でも値上げに対して顧客に慣れが出つつある。7～9月売上げは前年比横這いを見込む。(横浜・中区)

〔婦人服小売・卸業〕

4～6月売上げは前年比5%減少。コロナ禍以降売上げ減少し事業縮小傾向。その影響は落ち着いたものの、既存客がネット通販にシフトし店舗売上げは減少。7～9月売上げは前年比5%減少を見込む。落ち込み分をカバーするためパート従業員等に積極的に参加しているもののスポット的な売上げにしかならず、苦しい状況が続く。(東京・品川区)

47(プラス33)となった。(内内。)

〔不動産売買業〕

4～6月売上げは前年比5%増加。原油価格の高騰に伴い原材料費は増加。販売価格の値上げを行ったため、売上げは前年同月よりも上回る。7～9月売上げは対前年比10%増加を見込む。(横浜・保土ヶ谷区)

〔食品加工業〕

4～6月売上げは前年比10%増加。少量多種の精密機械部品の製造、加工を主に業とし、コロナ禍収束に伴い加工関係の注文が増加。今後は部品価格の高騰に対応しながら受注先の取引単価の交渉を行っていく。7～9月売上げは前年比5%増加を見込む。(横浜・磯子区)

20%増加。工期延長することなく、受注も増加。人件費高騰していることから海外実習生を雇用するなど対応。大手デベロッパのマンションやビルの大型工事受注を予定しており、7～9月売上げは前年比20%増加を見込む。(横浜・鶴見区)

〔不動産売買業〕

4～6月売上げは前年比5%減少。不動産価格の高止まり傾向が続き、エンドユーザーの手が届きづらい物件や住宅ローンの不承認が多く見受けられる。しかし、大手企業による仕入が減少したことから仕入環境は改善傾向。7～9月売上げは前年比5%増加を見込む。(横浜・西区)

4～6月売上げは前年比10%増加。放課後等デイサービス事業者。利用を希望する児童が年々増加しており、待機が出ている状況。7～9月売上げは前年比5%増加を見込む。(東京・大田区)

〔不動産売買業〕

4～6月売上げは前年比5%減少。不動産価格の高止まり傾向が続き、エンドユーザーの手が届きづらい物件や住宅ローンの不承認が多く見受けられる。しかし、大手企業による仕入が減少したことから仕入環境は改善傾向。7～9月売上げは前年比5%増加を見込む。(横浜・西区)